

令和元年度タウンミーティング会議録

期 日	令和元年7月10日(水) 14:00~15:30
会 場	大洗町漁村センター 研修室
対 象 者	女性関係団体 (女性会・母の会・食推・更女・くらしの会・きらきら・防火クラブ・商工会女性部・漁協女性部・JA女性部・経隆会・自民党大洗支部)
町 執 行 部	町長, 副町長, 教育長, 町長公室長, まちづくり推進課長, 都市建設課建設管理係長, 生涯学習課国体推進室長, 消防本部消防総務課長, 総務課長, 生活環境課長, 上下水道課長, 商工観光課長, 農林水産課長, 教育次長兼学校教育課長, 生涯学習課長, 住民課長, 税務課長, こども課長, 福祉課長, 健康増進課長
出 席 者	65名

町民： ・ガルパンのお客様や国体で来町する方に向けて、トイレや屋根付きベンチの設置予定はあるのか。

生涯学習課国体推進室長：

- ・国体開催時、競技会場には仮設トイレや休憩スペースを設置する予定である。

町長： ・駅前や若見屋平戸線、マリンタワーの公衆トイレが完成したところである。リゾート構想が進んでいけば、サンビーチのシャワーとトイレだけでは足りなくなるので、海側に便益施設を整備していきたいと考えている。

町民： ・サンビーチは広い砂地であり、その途中で小さい子どもがトイレに行きたくなったというのを聞いた。こまめに設置できないか。

町長： ・夏については、階段護岸付近に仮設トイレを設置して対応していきたい。

町民： ・ビーチセンター（津波避難施設）で妊婦がトイレを借りようとしたら断られ、遠いトイレを教えられた。

まちづくり推進課長：

- ・ビーチセンターは、非常時のみで原則利用できないことになっている。単純に線引きして利用の可否を判断するのは難しいが、状況を勘案して対応するように現地の職員には話しておく。

町民： ・ 老々世帯で車を手放しており通院には大洗鹿島線が欠かせない。高齢者、体の不自由な方のために、駅の階段にエレベーターかエスカレーターを設置していただけないか。

町長： ・ 国の補助基準は基本的に1日3,000人以上の乗降客であるが、大洗駅の乗降客は1日2,000人程度というのが現状である。高架という特性、進む高齢化などを踏まえ、鉄道局に出向き要望する予定である。

町民： ・ 夕日の写真を撮りたいと夕日の郷松川に行ったら門が閉まっていた。なんとかならないものか。

農林水産課長：

・ 地域に管理を委託しているので、相談してみる。

町長： ・ “夕日”の郷なので、夕日が楽しめるように配慮していきたい。

町民： ・ 通学合宿の会場が、こどもの城に変更したのはなぜか。

生涯学習課長：

・ 一昨年までは体験活動交流センターで実施していたが、風呂や畳の老朽化が激しい状況である。しっかりと設備の整った環境で6泊7日の通学合宿を提供する必要性からこどもの城に変更した。

町民： ・ クリーンアップ作戦が雨天中止となったが、国体を迎える9月初めに、町一斉のクリーンアップ作戦を展開してはどうか。

生活環境課長：

・ ご提言ありがとうございます。町内一斉で実施した方が良いのかどうか検討する。

町民： ・ 福祉バス更新事業とは。

総務課長：

・ 1号車として使用している大型バスは、維持費に膨大な金額を要することから、今回小型バスに変更して購入する予定である。予算は852万円を見込んでいる。

町民： ・ 駅前広場の工事で、バリケードの一部が道路に出ている影響で車線が狭くなっていて危険である。

都市建設課建設管理係長：

- ・養生の関係上、バリケードが出ているかもしれない。直ちに危険箇所を除去できるかどうか施工業者と検討する。

町民： ・駅前広場北側にある3本のくすの木は残るのか。緑に癒されてきたので木が無くなるのは寂しい。

都市建設課建設管理係長：

- ・今の計画では、バス停留所になる場所であり伐採の予定である。代替案については可能性を再考したい。

閉 会 15：30